

AK4000

カメラ用ハンドヘルドジンバル

—— 説明 ——

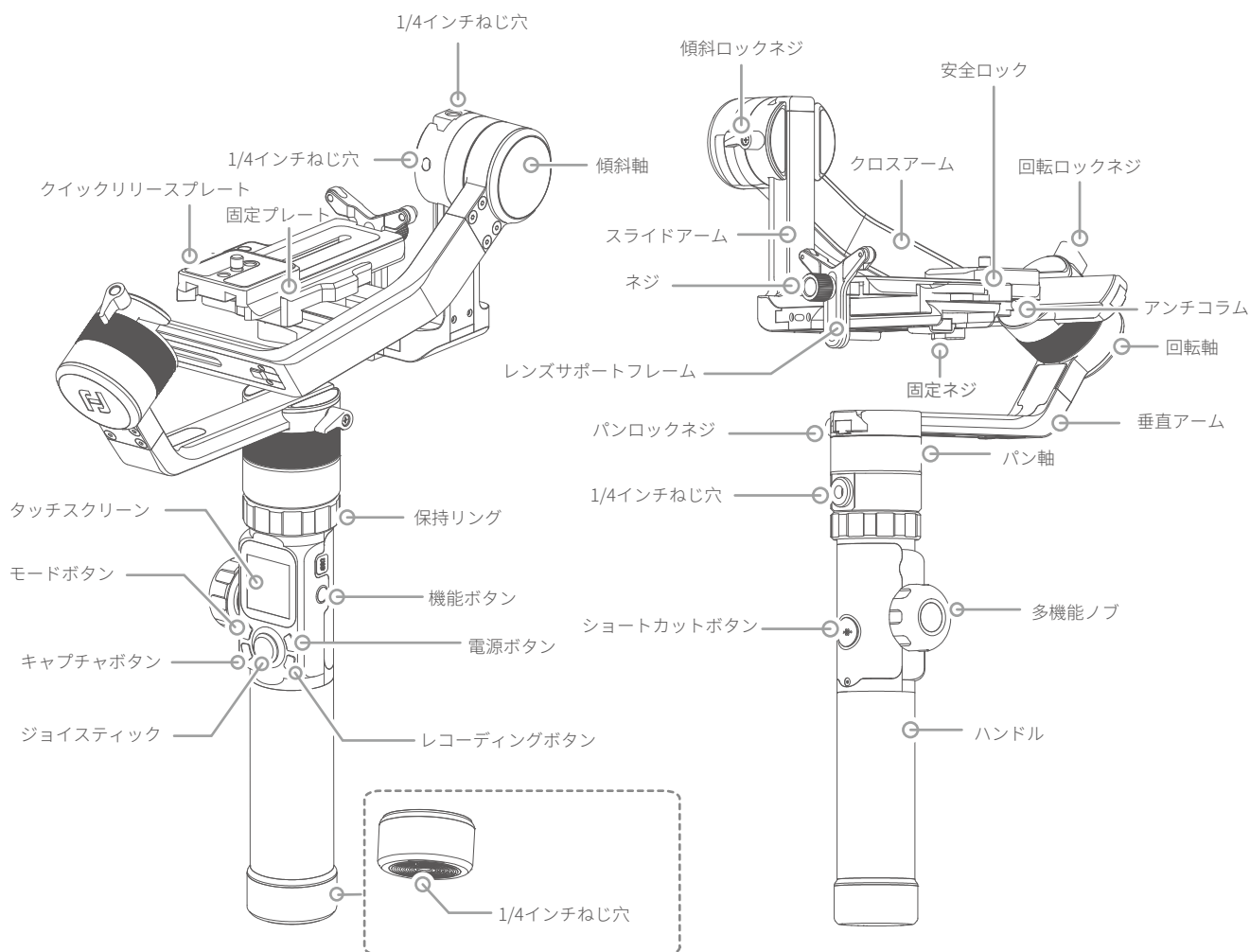
桂林feiyuテクノロジー会社法人

ユーザーマニュアル JP V2.0

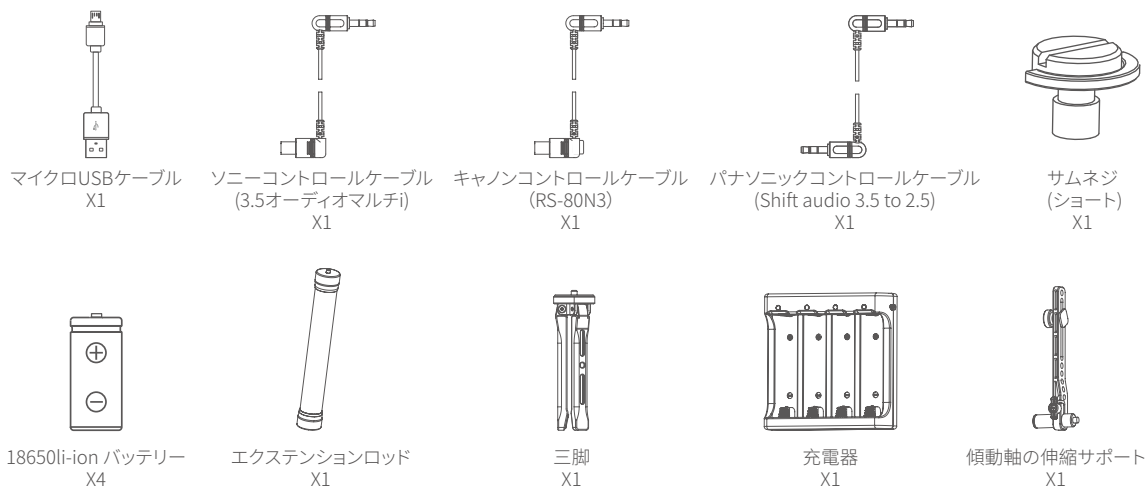
カタログ

1. 製品概要	1
2. インストール	2
2.1 バッテリー充電	2
2.2 バッテリーインストール	2
2.3 カメラインストール	3
3. ジンバルバランス	4
3.1 傾斜軸のバランス調整	4
3.2 回転軸受のバランス調整	6
3.3 パンニング軸のバランス調整	7
4. AK4000の機能/操作	8
4.1 ハンドルー機能/操作	8
4.2 機能	13
5. App - ダウンロードと接続	16
5.1 Feiyu ONアプリケーションのダウンロードとインストール	16
5.2 アプリの接続	16
6. 高度な操作	17
6.1 ジンバル初期化	17
6.2 アクセサリーの拡張	18
6.3 ファームウェアのアップグレード	19
7. パラメータ	20
8. 互換性のある参照用カメラ	21

1. 製品概要



アクセサリ



2. インストール

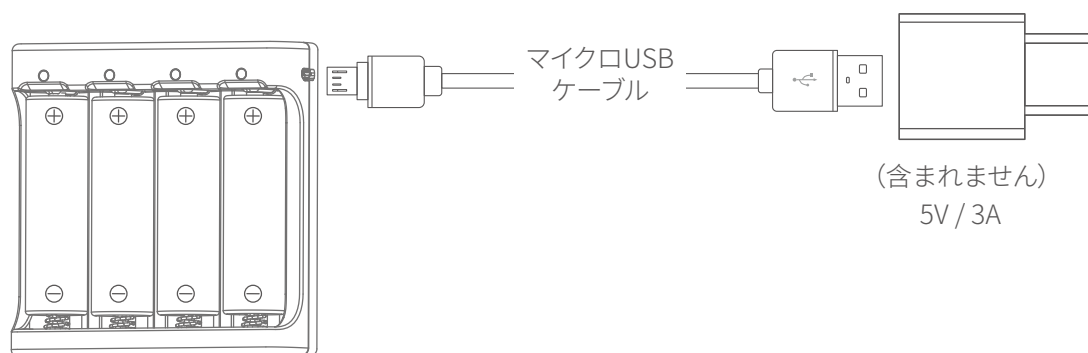
ヒント

- (1) ジンバルの電源を入れる前にカメラを取り付けてください。
- (2) バッテリー残量が少なくなったら、ジンバルを充電してください。
- (3) 使用しないときは、ジンバルの電源を切り、電池を外してください。

2.1 バッテリー充電

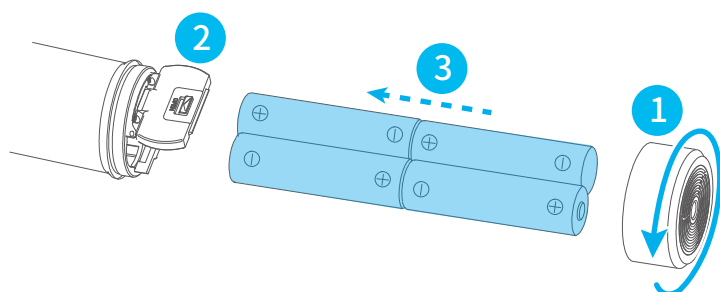
ジンバルの電源を初めて入れる前に、バッテリーをフル充電してください。

充電器で充電してください。



2.2 バッテリーインストール

底部キャップを外し、バッテリーを正しく取り付けます。

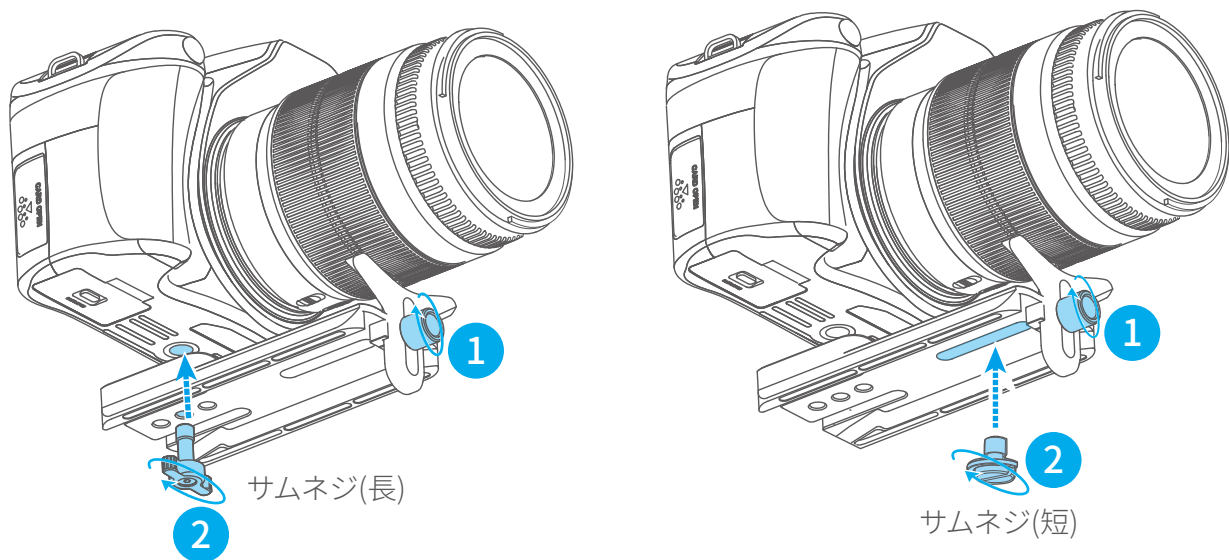


バッテリーモデル：
18650 Li-ionバッテリー

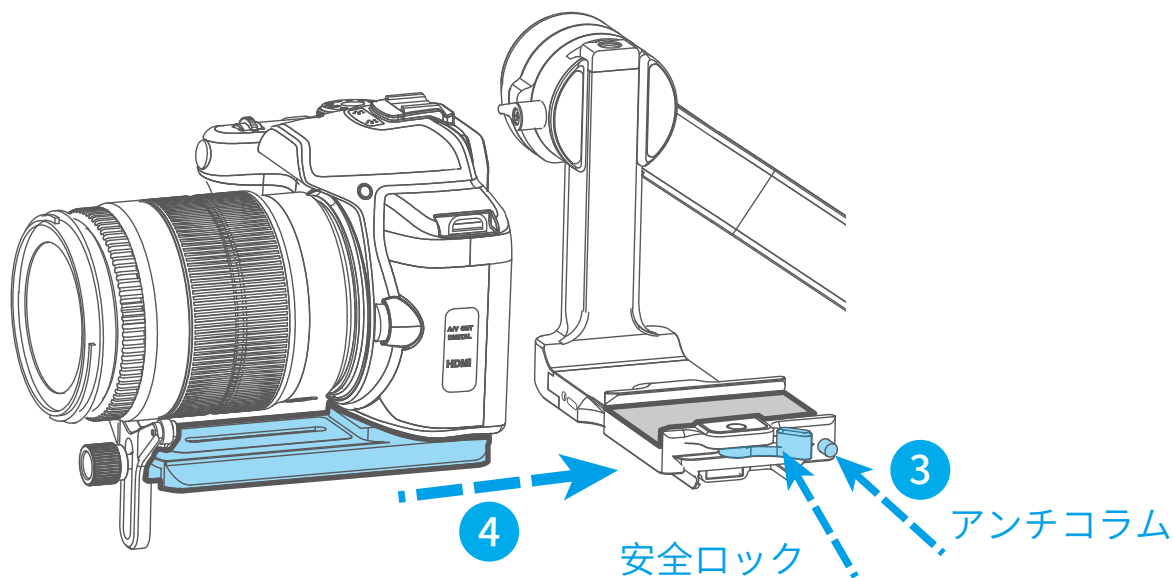
2.3 カメラインストール

1. レンズサポートフレームをネジでクイックリリースプレートに固定します。
2. つまみネジを使用して、クイックリリースプレートの下部スロットからカメラをロックし、レンズサポートフレームを調整します。

(クイックリリースプレートに取り付けるカメラの位置に応じて、長/短サムネジの長さを選択してください)



3. アンチコラム
4. クイックリリースプレートを固定プレートに置き、アンチコラムを固定します。



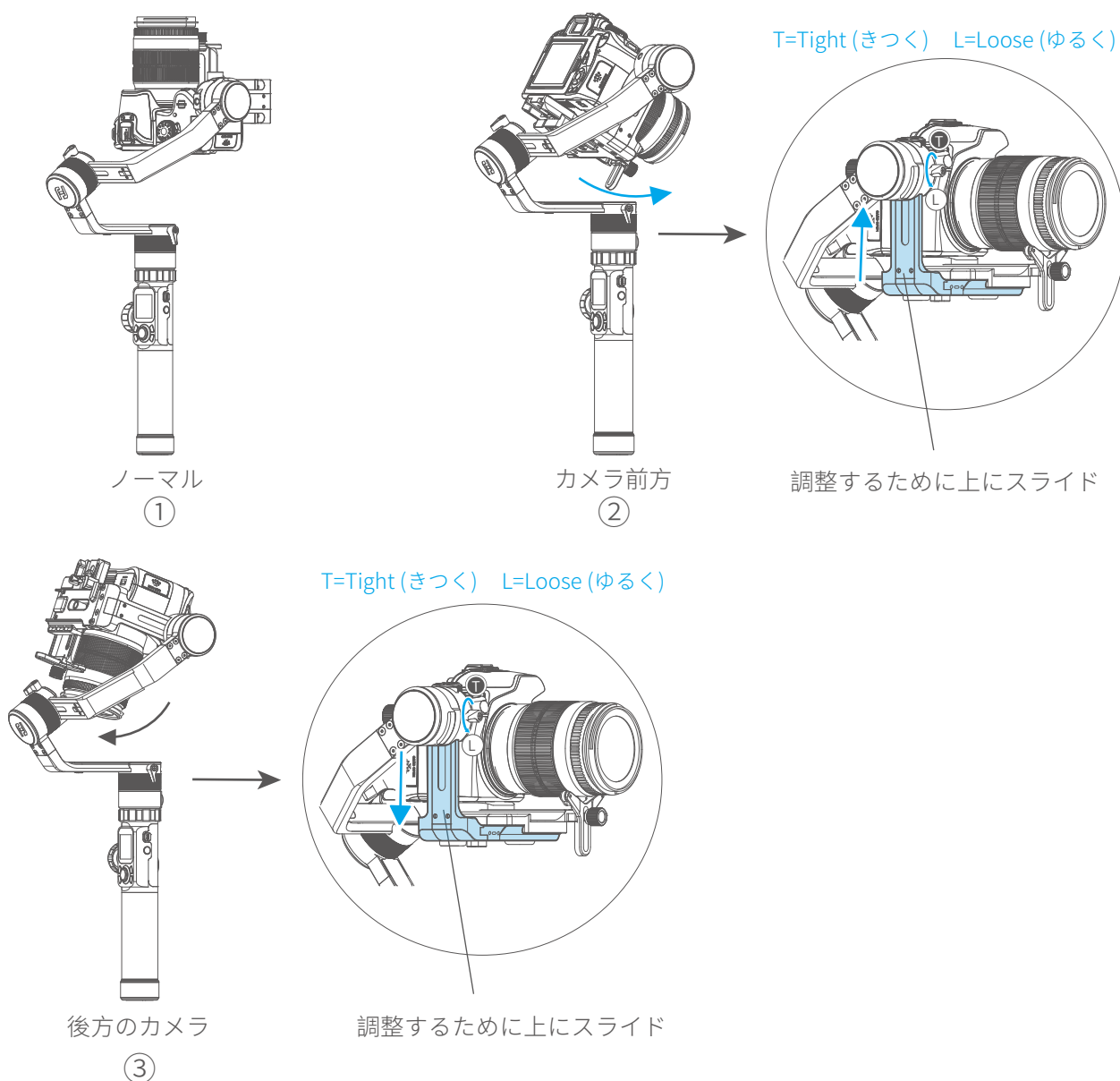
3. ジンバルバランス

3.1 傾斜軸のバランス調整

カメラの重心をチルトの回転軸に合わせて2段階で調整する軸。

- (1) 傾斜軸の重心位置を上下に調整する：カメラに合わせるレンズを下ろし、クロスアームのレベル調整する（図1を参照）。
スライドアームを上にしてバランスを調整し、回転の状態をチェックする。
（図②③参照）

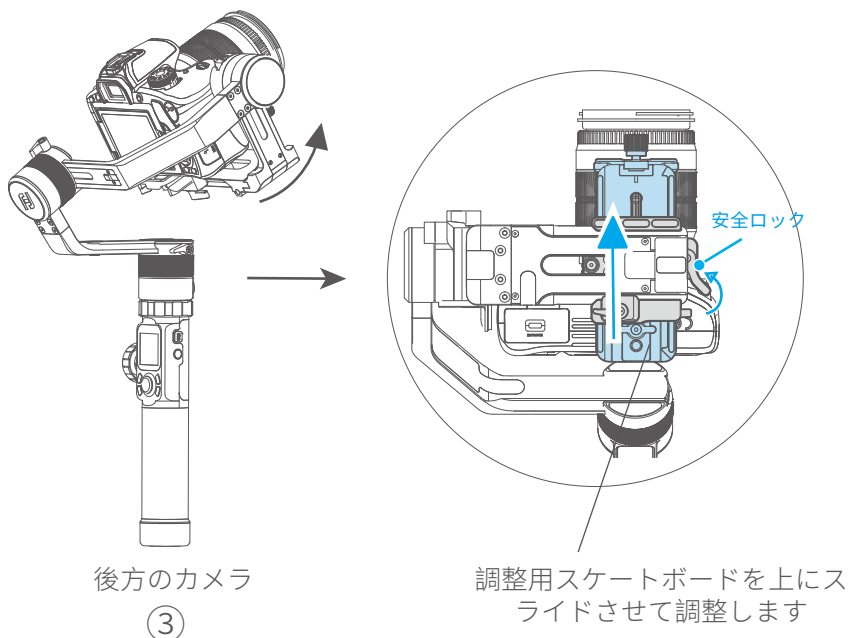
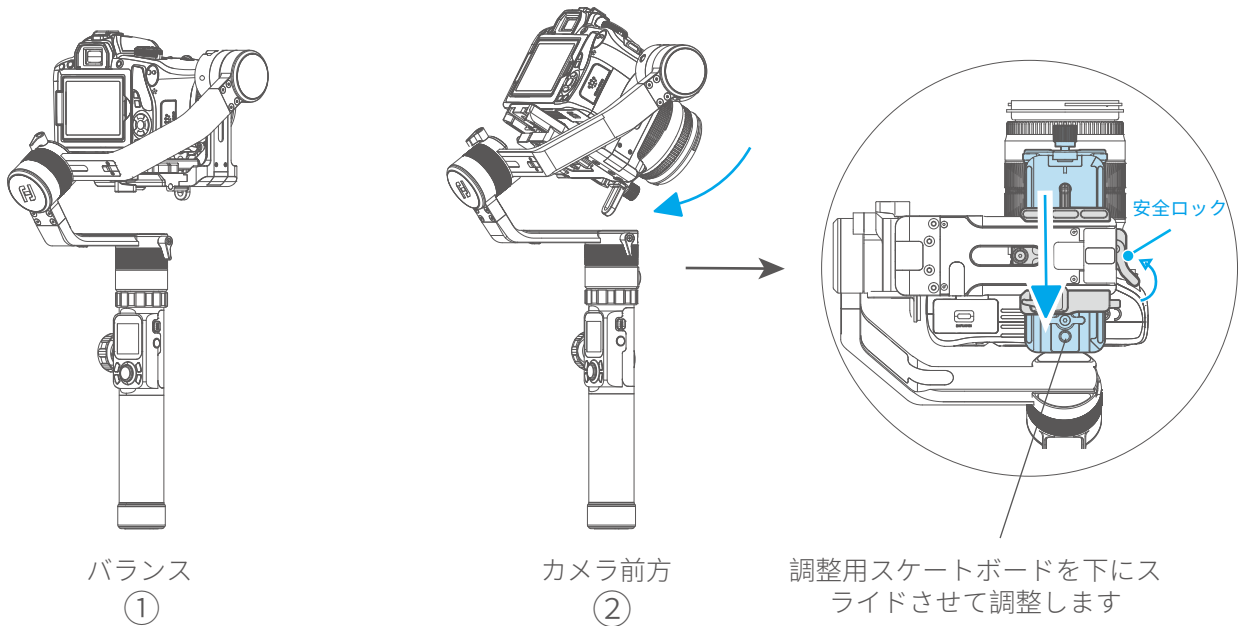
* 調整後は必ずロックネジを締めてください。



(2) チルト軸の重心位置を前後に調整：点前方に向けてカメラレンズを水平にし、クロスアームレベルを調整します。図①回転させてみましょう

カメラの右側にある安全ロックを緩め、カメラ底面のクイックリリースプレートに上下にスライドさせます（図②③）。

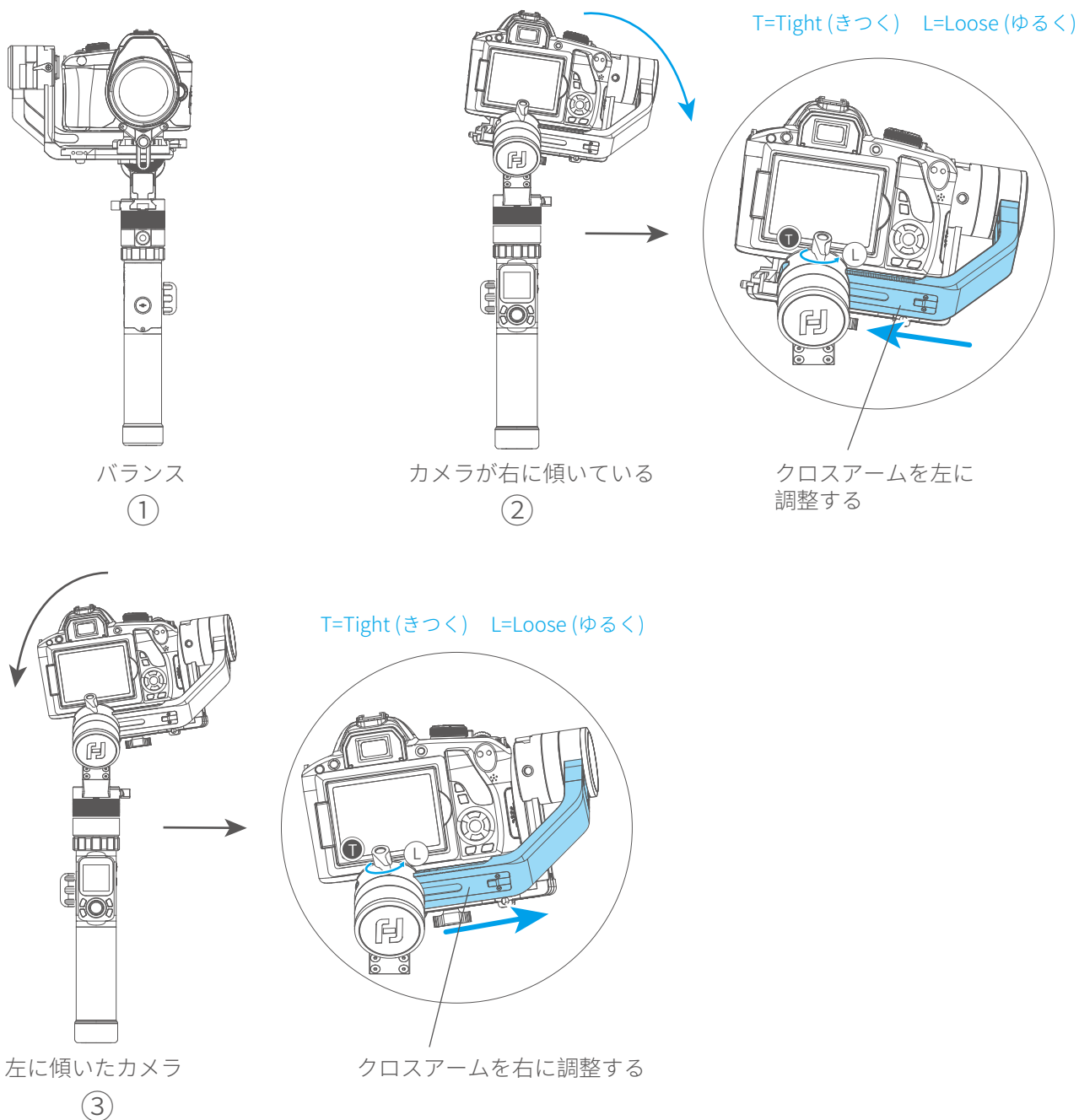
*調整後は必ず安全ロックを締めてください。



3.2 回転軸受のバランス調整

チルト軸のバランス調整が完了したら、ローリング軸のバランスを調整できます。ジンバルソケットコネクタを図1のようにハンドヘルド制御ハンドルで地面に垂直になるようにし、ジンバルの電源を切ってバランスを確認してください。固定ネジをゆるめ、クロスアームを左右にスライドさせてロールを調整します（図②③参照）

* 調整後は必ずロックネジを締めてください。

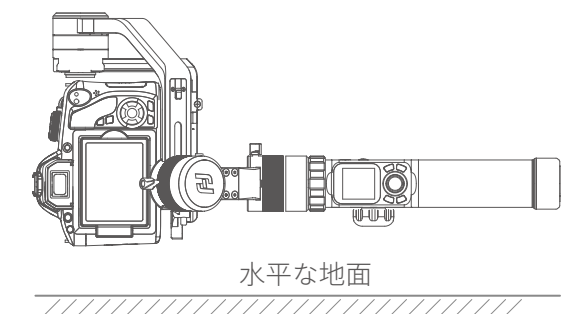


3.3 パンニング軸のバランス調整

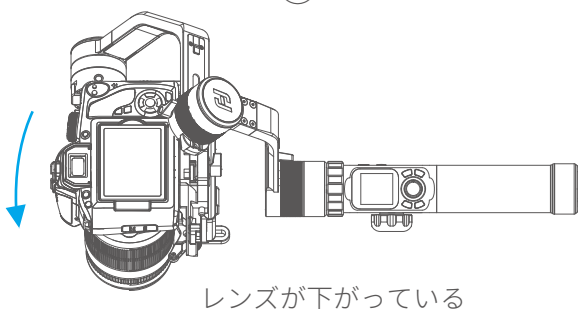
傾斜軸と回転軸のバランス調整が完了すると、バランス
パンニング軸の角度調整ができます。ジンバルソケットコネクタは水平にしてください。
位置、図1のように手持部分のパンニング軸の回転を調整してください

パンのロックねじを緩め、垂直アームを前後にスライドさせて調整します (図②③参照)。

* 調整後は必ずロックネジを締めてください。

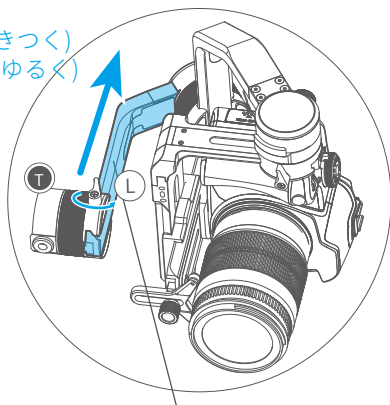


①



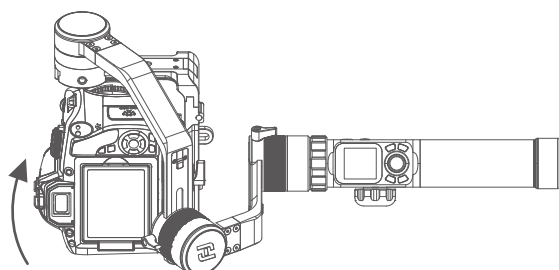
レンズが下がっている

T=Tight (きつく)
L=Loose (ゆるく)



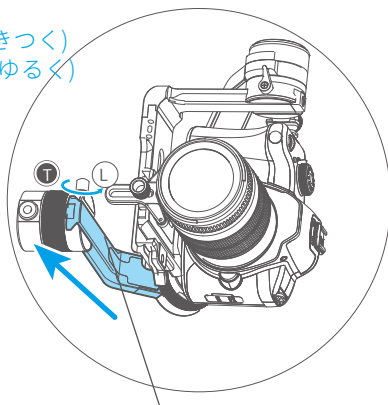
垂直アームを後方にスライドさせて調整します

②



レンズが上がっている

T=Tight (きつく)
L=Loose (ゆるく)



垂直アームを前方にスライドさせて調整します

③

4. AK4000の機能/操作

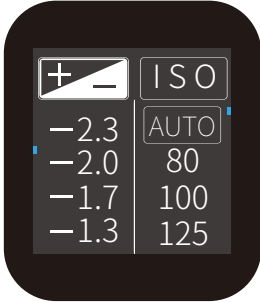
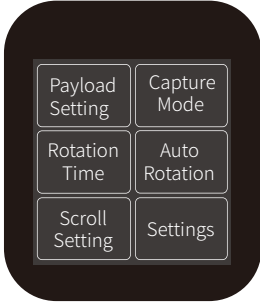
4.1 ハンドラー機能/操作

1. タッチスクリーン

* オプションをクリックして機能モードを切り替えまたは選択し、画面を左右にスライドさせてページを切り替えます

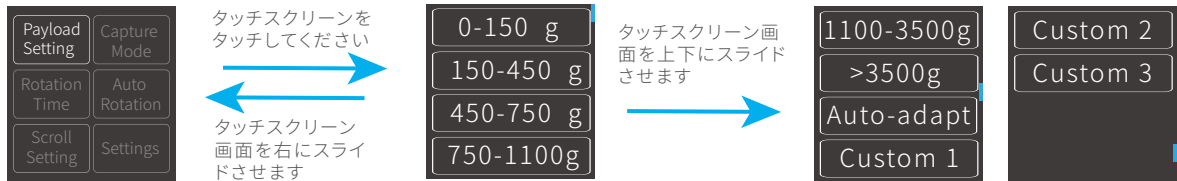
- パンニングフォローモードで電源ボタンをタップすると、パンニングフォローに入ることができますモードと回転フォロー(回転フォロー角度 $\leq 60^\circ$)。
- スマートフォンのレンズを基点にして、スマートフォンのレンズをパン軸によって左または右に曲がるように調整します(回転フォロー角度 $\leq 60^\circ$)。
- パンニングフォローモードで電源ボタンをタップすると、パンニングフォローに入ることができますモードと回転フォロー(回転フォロー角度 $\leq 60^\circ$)。
-  または  を長押ししてマルチファンクションノブ機能をロックし、マルチファンクションノブまたは  /  をもう一度クリックして、使用を再開します。

スクリーン

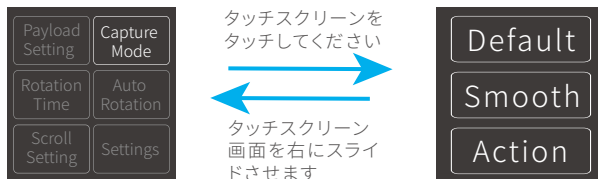
			
表示アイコン	モード/ステータス	表示アイコン	モード/ステータス
	Wifi接続	HF	パンモード
	Wifi接続なし	TF	フォローモード
	ブルートゥース接続	AF	全フォローモード
	ブルートゥース接続なし	LK	ロックモード
	バッテリーレベル	HF-R	パンニングモード+ローリングフォロー
	カメラモード	TF-R	フォローモードとローリングフォロー
	カメラ接続なし	LK-R	ロックモード+ローリングフォロー
	ズームステータス		傾斜軸
	フォローフォーカスステータス		回転軸
			パン軸

スクリーン

負荷設定はカメラに応じて行われます。



撮影シーンに応じて、対応するシーンモードを選択します。



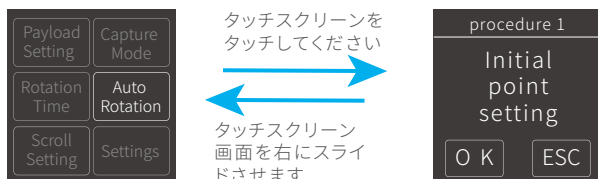
PANとTILTの最大時間設定は8時間未満で、INVLとDWELLの最大時間設定は59秒です。

* PAN/TILT>INVL>DWELL

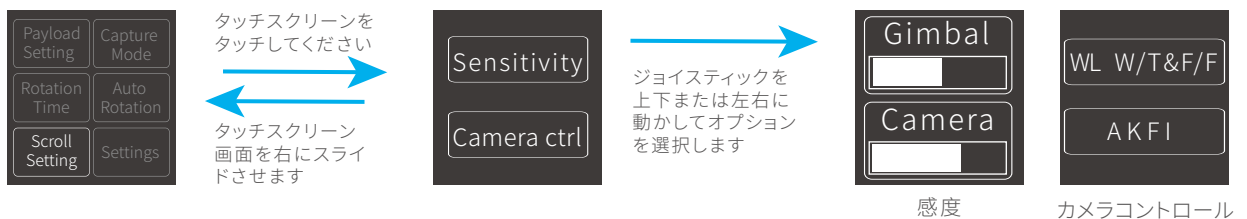
14ページの「自動回転モード」の章を参照してください。



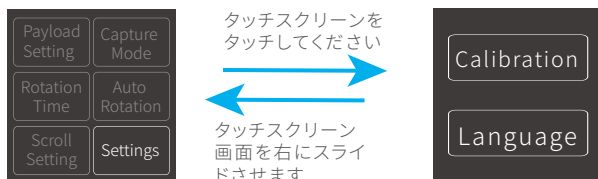
自動回転モードにします



感度設定が高いほど、制御PTZ /カメラの反応が速くなります



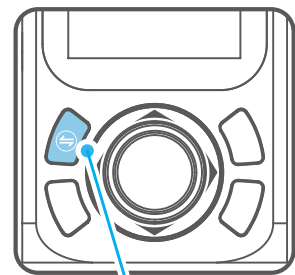
設定



2. モードボタン

注：ファームウェアのアップグレードは手動で行うため、実際の製品機能と一致しない場合があります。
公式サイトで最新のマニュアルをご確認ください。

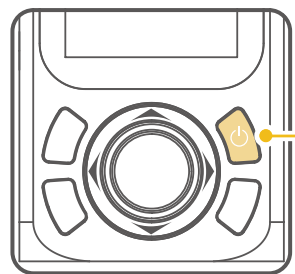
1回クリック	パンモード / ロックモード	パンニングモードとロックモードをシングルタップで切り替え
2回クリック	フォローモード	フォローモードの時1回タップするとパンモードに切り替わります
3回クリック	全フォローモード	全フォローモードに入る



モードボタン

3. 電源ボタン

長押し	電源オン / 電源オフ	電源ボタンを長押しすると画面が表示されます 
1回タップ	ローリングフォローモード	アングルリミット60°
3回タップ	180°回転水平	回転と傾斜の方向が固定され、パンの方向は180°回転します



電源ボタン

4. キャプチャボタン

手動キャプチャ

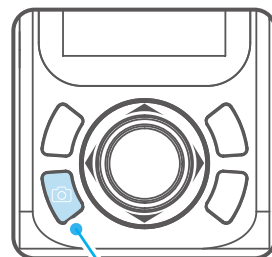
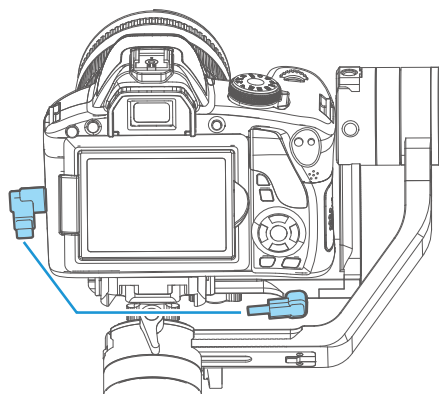
焦点を合わせるにはカメラボタンを1回クリックし、3秒以内にもう一度タップしてから写真を撮ります。フォーカスをクリックしてから3秒以内に操作がない場合、フォーカス状態が解除されます。

* カメラのシャッターケーブルに接続するか、カメラのWiFiに接続する必要があります。

自動写真撮影

カメラボタンを押し続けると、ジンバルは"ベル音"を鳴らして自動連写モードになります。デフォルトでは5秒ごとに1回撮影されます。カメラボタンを1回タップすると自動連続撮影モードを終了します（連続撮影間隔を設定するには、Feiyu On Appから行ってください）。

* カメラのシャッターケーブルに接続してください

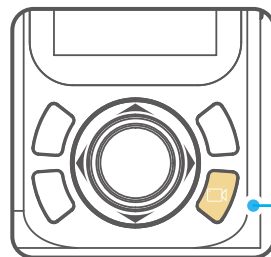


キャプチャボタン

5. レコーディングボタン

* シャッターリリースケーブルまたはカメラのWiFi
(WiFi機能付きカメラの場合) に接続する必要があります。

1回タップ 撮影開始 / 撮影停止



レコーディング
ボタン

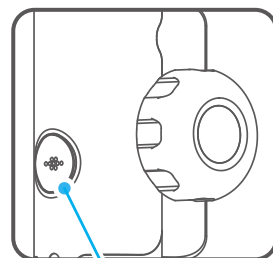
6.Shortcut button

長押し 高速フォローモード

ショートカットボタンを長押し押すると高速フォローモードになります

2回タップ リセット

ショートカットボタンを2回タップしてパンモードに戻り、チルト、ロール、パン軸を初期設定に戻すことができます



ショートカットボタン

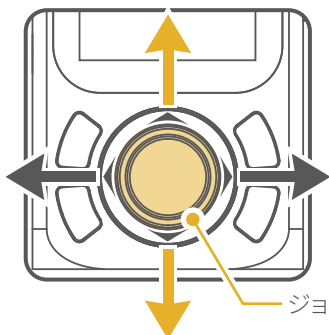
7. ジョイスティック

上へ

- (1) カメラレンズを上に向けて
- (2) 上記のオプションを選択

左に動かす

- (1) カメラレンズを左に向ける
- (2) オプション左を選択



ジョイスティック

右に動かす

- (1) カメラレンズが右に移動する
- (2) オプション右を選択

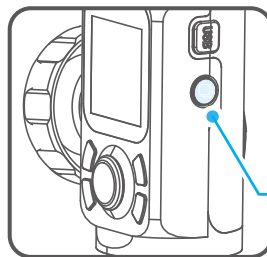
下へ向ける

- (1) カメラレンズが下を向く
- (2) オプション下を選択

8. 機能ボタン

1回タップ 戻る / ロック / ロック解除

他の画面では、機能ボタンをタップしてメイン画面に戻ります。
メイン画面の機能キーを1回タップして、ロック/ロック解除にします。



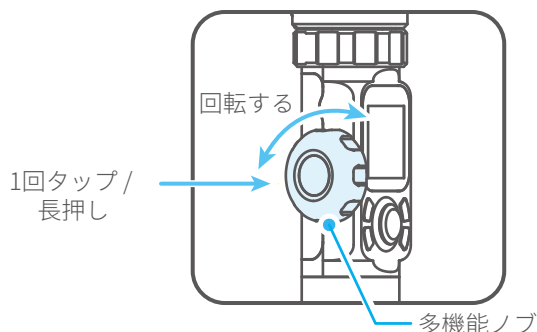
機能ボタン

9. 多機能ノブ

回転する 軸回転コントロール / フォーカスフォローズーム

長押し フォローフォーカスとズームオプション、軸方向の切り替え

1回タップ スイッチ調整オプション



多機能ノブ

コントロール
フォーカスまたは
ズームフォロー

1回タップ
スイッチ調整オプション

ディスプレイ

紹介



デフォルト

ズームコントロール

カメラがズーム制御をサポート



フォーカスフォロー

カメラがフォーカスフォロー

* カメラを接続した後

16ページの「カメラに接続する」の章を参照してください。

多機能ノブを
長押し

軸の方向を
コントロール

1回タップ
スイッチ調整オプション

ディスプレイ

紹介



デフォルト

傾斜軸の回転を制御する



回転軸の回転を制御する



パン軸の回転を制御する

4.2 機能

モード

パンモード (デフォルトモード)

回転と傾斜の方向が固定され、カメラは手の左右の動きに従って動きます。

フォローモード

回転方向は固定され、カメラは手の左右上下の動きに従って移動します。

ロールフォローモード

パンと傾斜の方向は固定され、カメラは手の左右の動きに従って動きます。

全フォローモード

ユーザーの手に合わせてカメラが動きます。

ロックモード

カメラの向きは固定されています。

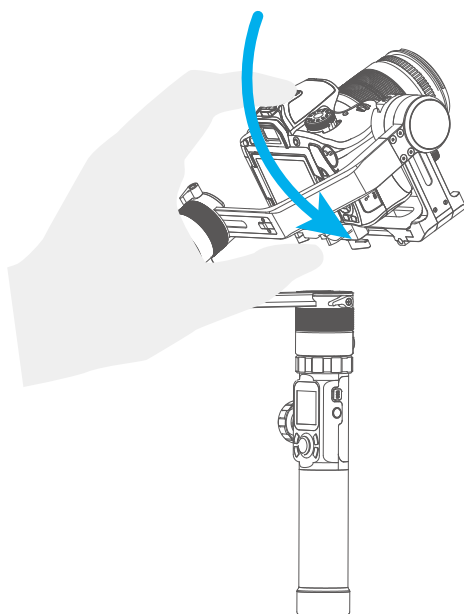
リセット

パンモードに戻り、3つの軸がデフォルトの位置に戻ります

マニュアルロック

カメラを手動で移動し、0.5秒間キープします。新しい傾斜位置/またはパン位置が自動保存されます。

(カメラはパンニングモード、フォローモード、またはロックモードの時、手動で決めることができます)



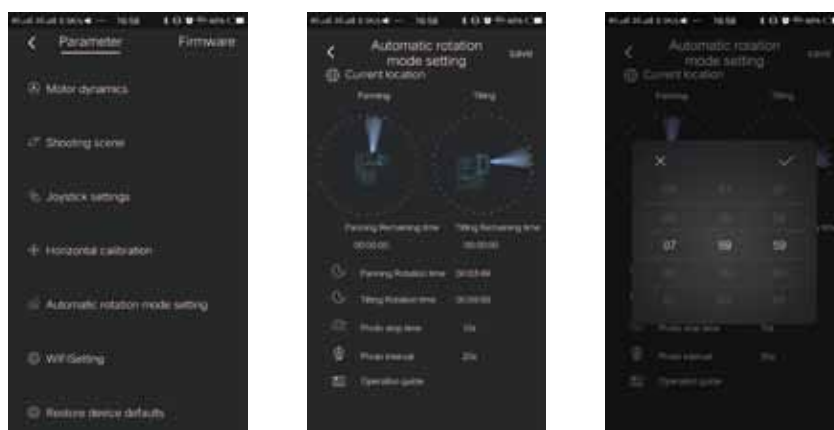
自動一回転モード

自動回転モードのパラメータ設定

方法 1. Feiyu ON Appから自動回転モードのパラメータを設定します。

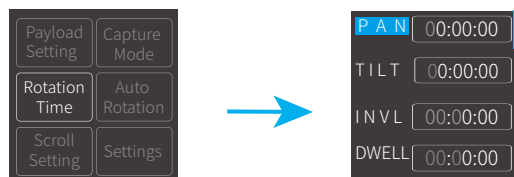
パラメータ設定画面で自動回転モードを選択します。パンとチルトの回転時間の最大設定は8時間未満で、撮影停止時間と撮影間隔の最大設定時間は59秒です。

(注: 撮影間隔の設定は、撮影停止時間より大きく、パン回転時間またはチルト回転時間よりも短くなければなりません)。



方法 2. 回転時間を入力して自動回転モードのパラメータを設定するディスプレイ画面を介してインターフェースする。

タッチスクリーンまたはジョイスティックを上下または左右に動かしてオプションを調整します



画面アイコン	モード／ステータス	最低時間の設定	最大時間の設定
PAN(T1)	パンの回転時間	00:00:00	07:59:59
TILT (T2)	傾斜軸回転時間	00:00:00	07:59:59
INVL(t)	撮影間隔	00:00:00	00:00:59
DWELL(P)	撮影待ち時間	00:00:00	00:00:58

* T1/T2>t>P

PAN: パンニング軸が始点から終点まで回転するのに必要な時間。

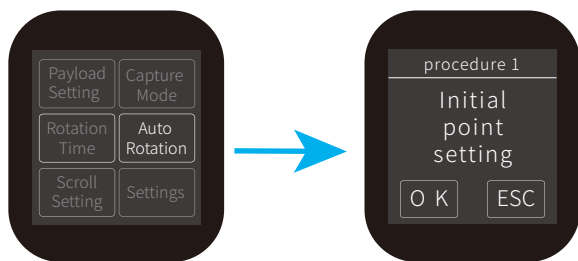
TILT: チルト軸が始点から終点まで回転するのに必要な時間。

INVL: 前回の撮影終了から次の撮影終了までの時間。

DWELL: 撮影コマンド発行後のジンバル停止時間。

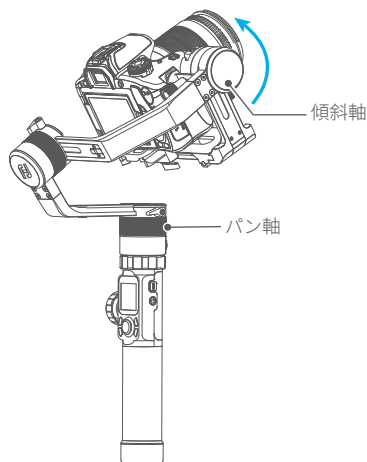
自動一回転モード設定

(1) 画面上で自動回転を選択してスタートさせます



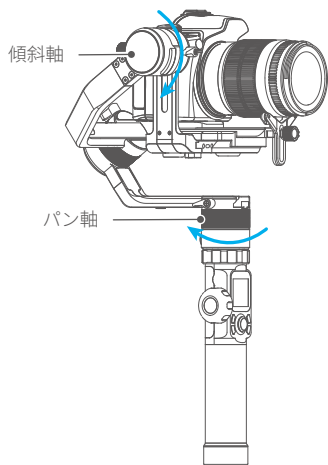
(2) 回転開始位置を設定します

パンニング軸または傾斜軸を開始位置に回転させ、0.5秒間そのままにして、画面上の[OK]オプションをクリックすると開始位置を記録します。



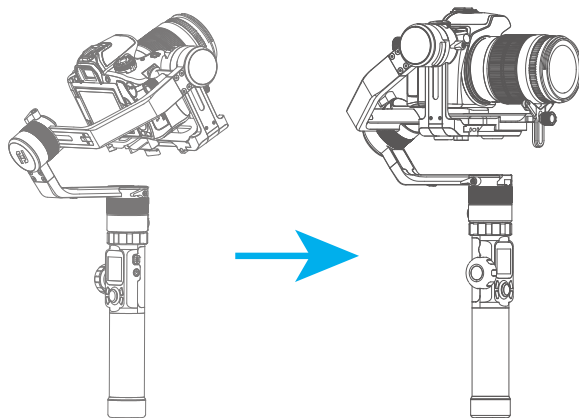
(3) 回転終了位置を設定する

パンニング軸または傾斜軸を終了位置まで回転させ、0.5秒間そのままにしてから、もう一度[OK]をクリックすると終了点を記録します。



(4) 自動回転動作を開始する

ジンバルが自動的に開始位置に戻り、傾斜軸とパン軸が終了位置まで回転します。パラメータを設定完了後自動的にリセットされます。



退出 →

2回タップ

ショートカットボタンをクリックするか、画面のESCオプションをクリックします



自動回転モードを終了してリセットする

5. App - ダウンロードと接続

5.1 Feiyu ONアプリケーションのダウンロードとインストール

* iOS 9.0以上、Android 5.0以上が必要です



iOS バージョン



アンドロイドバージョン

5.2 アプリの接続

1. 携帯電話のBluetoothをオンにし、ジンバルを開始します。
2. アプリケーションを開き、Appの指示に従ってAK2000に接続します。
接続完了後アプリ上でAK2000をコントロールできます。



6. 高度な操作

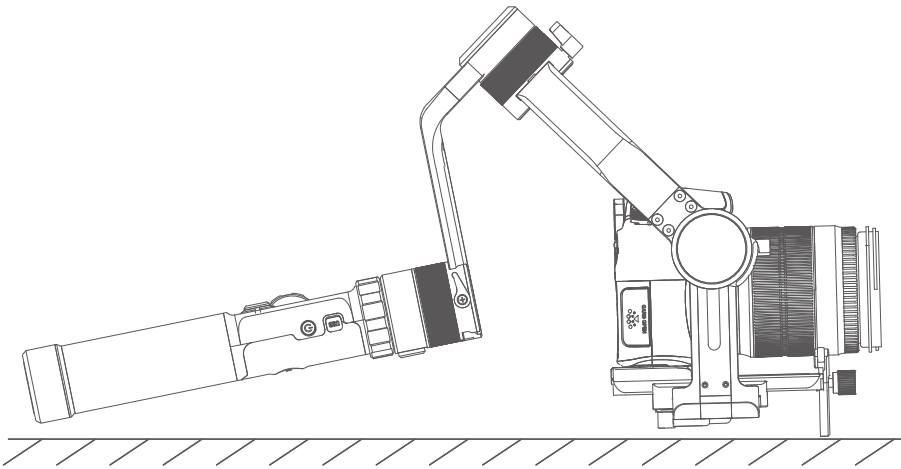
6.1 ジンバル初期化

以下の場合にジンバルを初期化することができます

- (1) カメラがバランスをとれていないとき。
- (2) 長時間使用しない場合。
- (3) 極端な温度変化がある場合。

(1) 画面のシステム設定を選択して、ジンバル校正をスタートします。

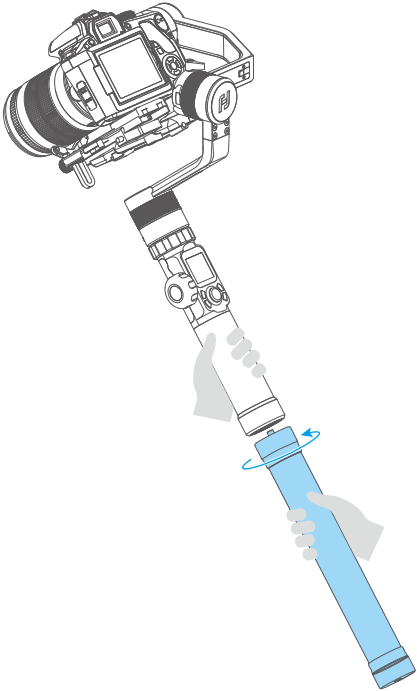
(2) ジンバルをテーブルに置くと、ジンバルが自動的に初期化されます。完了画面が表示されたら、正常に初期化されています。



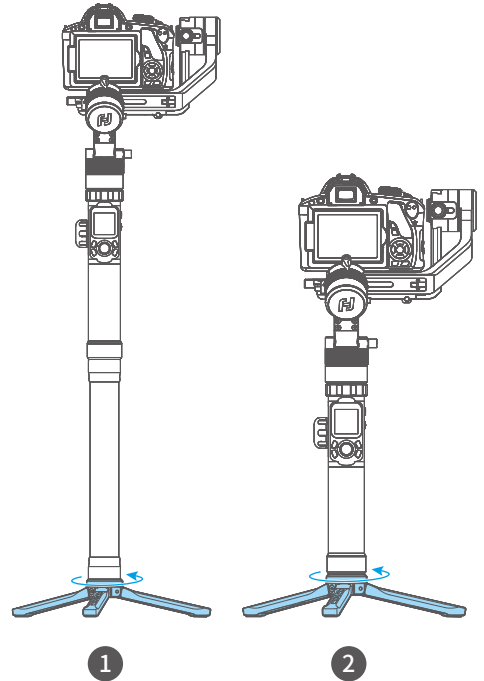
(3) 初期化が成功したら、表示画面を左右にスライドさせるか、画面上の "ESC" キーを押してください。

6.2 アクセサリーの拡張

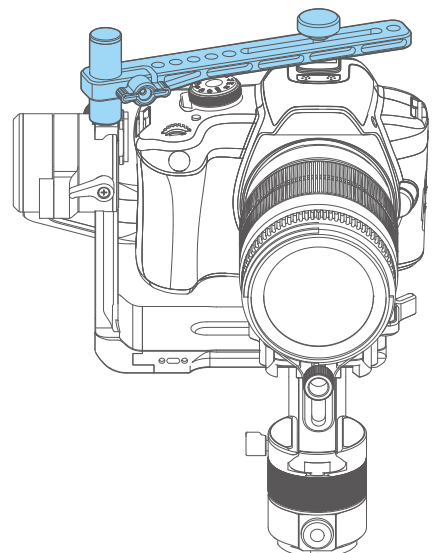
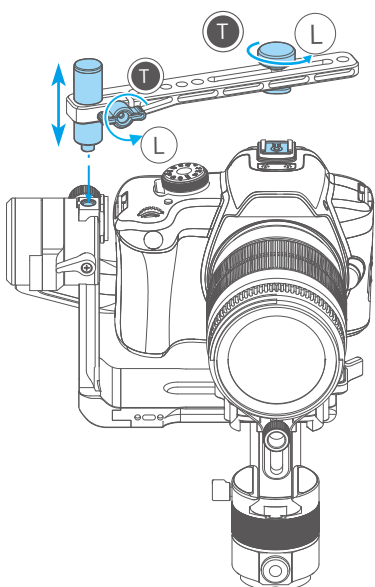
1. エクステンションロッド



2. 三脚



3. 傾斜軸の伸縮サポート

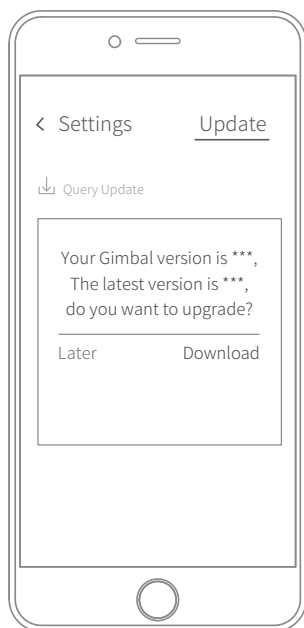


6.3 ファームウェアのアップグレード

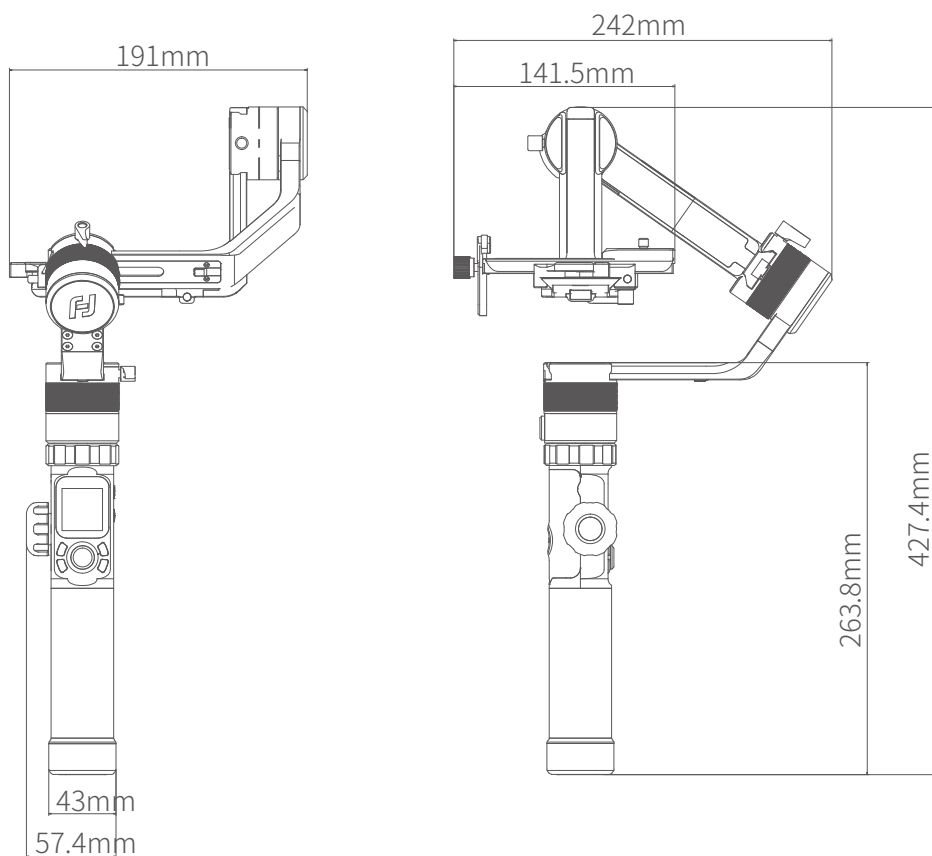
Feimu ON Appとジンバルを接続し、アプリを通じてアップグレードします。



Feiyu ON



7. パラメータ



最大傾斜範囲	230°
最大回転範囲	360°
最大パンニング範囲	360°
傾斜速度	2°/s ~ 75°/s
パンニング速度	3°/s ~ 150°/s
操作時間	12 時間
重量	重量約1436グラム (バッテリー除く)
ペイロード	4000グラム (重心平衡状態で)

8. 互換性のある参照用カメラ

ブランド	モード	レンズ装備可能
Canon	Canon 5DMarkIV	Canon EF 100mm f/2.8L IS USM+Camera hood
		Canon EF 135mm f/2L USM+Camera hood
		Canon EF 85mm f/1.2 L II USM+Camera hood
		Canon EF 50mm f/1.2L USM+Camera hood
		Canon EF 35mm f/2 IS USM+Camera hood
	Canon 1D X Mark II	Canon EF 35mm f/2 IS USM+Camera hood
		Canon EF 50mm f/1.2L USM+Camera hood*
		Canon EF 85mm f/1.2 L II USM+Camera hood*
		Canon EF 135mm f/2L USM+Camera hood*
		Canon EF 100mm f/2.8L IS USM+Camera hood*
	Canon5DMarkIII	Canon EF 85mm f/1.2 L II USM+Camera hood
		Canon EF 24-105mm f/4L IS USM
	Canon6DMarkII	Canon EF 85mm f/1.2 L II USM+Camera hood
		Canon EF 16-35mm f/2.8L II USM
		Canon EF 24-105mm f/4L IS USM
		Canon EF 50mm f/1.2L USM+Camera hood
Nikon	Nikon D500	NikonAF-S 105mm f/2.8G IF-ED VR
		NikonNikkor 18-140mm f/3.5-5.6G ED VR
	NikonD7500	NikonNikkor 18-140mm f/3.5-5.6G ED VR
		NikonAF-S 105mm f/2.8G IF-ED VR

* Tips: The camera needs to be close to the tilting motor.

ブランド	モード	レンズ装備可能
Sony	Sony α9	Sony E 50mm F1.8
		Sony E PZ 18-105mm F4 OSS
		Sony FE 85mm F1.8
		Sony FE 35mm F1.4
		sony FE 24-240mm F3.5-6.3
	Sony α7R2	SonyVario-Sonnar T* 24-70mm f/2.8 ZA SSM
	Sony α6500	SonyFE 28-70mm f/3.5-5.6 OSS
	Sony α7R3	Sony E 50mm F1.8
		Sony E PZ 18-105mm F4 OSS
		Sony FE 85mm F1.8
		Sony FE 35mm F1.4
		sony FE 24-240mm F3.5-6.3
		Sony FE 24-105mm f/4 G OSS
		Sony FE 12-24mm f/4.0 G

桂林feiyuテクノロジー会社法人

ウェブサイ: www.feiyu-tech.com

Eメール: service@feiyu-tech.com

電話: +86(0)773 2320865

ソフトウェアとハードウェアの改善のため、実際の製品はこのユーザーマニュアルの説明と写真が異なる場合があります。公式サイトから最新のユーザーマニュアルを入手できます。

詳細については、公式サイトをご覧ください。



免責条項

違法な目的での使用を禁止します。ユーザーは購入および製品のすべての使用責任を負います。

当社は、本製品のデバッグおよび使用に関連する、またはそのいかなるリスク（直接、間接、または第三者の損失を含む）に対しても責任を負いません。

情報源が一切わからないものに対しては、いかなるサービスもいたしかねます。

製品のファームウェアおよびプログラムの更新および変更によってこのユーザーマニュアルの機能説明が変更されることがあります。ファームウェアをアップグレードする前に注意深くお読みになり、対応するユーザーマニュアルを使用してください。

最新のユーザーマニュアルは、公式サイトwww.feiyu-tech.comから入手できます。

FeiyuTechは、当マニュアルおよびジンバルの使用条件を修正する権利を常に持っています